これからの50年に向けた価値創造

第50回 中部VE大会

Link the Next
～共想、そして共創～
一般社団法人 中部産業連盟

と　き	2018年11月16日(金)　10:00～17:00
ところ	三菱電機FAコミュニケーションセンター (名古屋市東区矢田南5丁目1の14)
主　催	一般社団法人中部産業連盟　中部VE研究会

ご参加いただきたい方

- 企業価値を創造したい、企業価値を高めたい方
- VE(バリューエンジニアリング)について知りたい方
- VEの導入・実践をお考えの方
- 新規事業の創出や先進企業の事例を知りたい方

プログラム

時　間	内　容
10:00	**開　会　挨　拶**
VE講演 (70分) 10:10 ～ 11:20	**VEの原点的思考** ～VEが目指すものとは～ バリューアップ研究所　代表 国際バリュー・スペシャリスト(CVS)　谷　彰三 氏 VEが産声を上げて71年を迎えます。この間に様々な工夫が加えられ、実施手順の充実や適用対象の拡大などがなされてきました。その結果、資材部門でのコストダウンのための適用から、製品開発のあらゆる段階での適用へと発展し、さらに、製造業以外でも活用されるようになりました。しかし、VE活動の実施＝VE実施手順の実施と考えて、VE本来の基本的考え方や目指すべき姿を忘れた活動も見受けられます。そこで、原点に立ち返ってVEの「基本的考え方」や「本来目指すもの」について紹介するとともに、「今後の方向性」についても考えて行きます。 **VEの考え方を活用した製造現場の問題解決法** ～町工場の現場改善にVEを活用する～ 株式会社技術経営フロンティア　代表取締役 VEスペシャリスト(VES)　小林　達哉 氏 中小企業の製造現場での問題解決にVEを活用した事例を紹介します。特に10人規模の小規模工場では、現場で問題が発生したとしても社員が個々に問題解決を図り、その情報が社内で共有されず、ノウハウが属人化しているケースが多々見られます。この場合に、職場の共通言語としてVEの考え方を用いてノウハウの共有化を図り、人手が限られる中でもVEを使って現場の問題解決を効率よく進め、成果に結びつけた事例を紹介します。
基調講演 (60分) 11:30 ～ 12:30	**21世紀におけるマーケティング** ネスレ日本株式会社　代表取締役社長兼CEO ケイアンドカンパニー株式会社　代表取締役社長　高岡　浩三 氏 日本企業がグローバル企業や新興国の勢いのある企業との競争に勝つためには、先進国にふさわしいマーケティングが必要です。顧客が直面しており、なおかつ気付いていない様々な問題を発見し、その問題を解決するプロセスの中でいかにイノベーションを創出するかについて紹介します。
昼食休憩　40分	
特別講演 1 (60分) 13:10 ～ 14:10	**富士フイルムの成長戦略とイノベーション** ～危機からの脱出と新規事業創造～ 富士フイルム株式会社　R&D統括本部　先端コア技術研究所長　兼 経営企画本部　イノベーション戦略企画部　部長　後藤　孝浩 氏 2000年代、技術革新に伴いデジタルカメラが普及し写真フイルムの需要が激減したため、コア技術を基盤とした事業転換に全社一丸となり挑戦し、その危機を乗り越えました。2006年には社名から「写真」を消し、フラットパネルディスプレイ材料や医療、ライフサイエンス、ドキュメント事業など、写真に留まらない事業領域の拡大を目指してきました。その過程では、どの事業分野に舵を切るべきか、組織をどう変革していくかなど、待ったなしの状態での判断の連続でした。これらの軌跡について紹介します。
特別講演2 (90分) 14:20 ～ 15:50	**【脳科学×マネジメント】イノベーションを創出するための組織づくりと人づくり** スリーエム ジャパン株式会社　執行役員 コーポレート・プロセス・イノベーション及び　品質保証担当　大久保　孝俊 氏 米スリーエム(3M)およびスリーエムジャパンにおいて30年以上にわたって研究開発とイノベーション人材開発に携わり、イノベーション創出のための様々なマネジメント手法を体得し、実践してきた講演者より「組織や人のモチベーションを高める」をテーマに様々なシチュエーションでの解決方法をお伝えします。「ポジティブに働く人間の本質の出現を強化し、ネガティブに働く人間の本質の出現を抑制すること」を基本としたマネジメントを紹介します。
パネル ディスカッション (60分) 16:00 ～ 17:00	**テーマ「これからの50年に向けた価値創造」** 著書出版やテレビ、新聞、ラジオなどのメディアでも活躍されているマーケティングアイズ(株)代表取締役の理央 周(りおうめぐる)氏をファシリテーターに、講演者をパネリストにお迎えしてそれぞれの切り口からこれからの50年に向けての価値創造について考えるディスカッションを行います。 《ファシリテーター》理央　周 氏　(マーケティングアイズ株式会社　代表取締役　関西学院大学　准教授) 《パネリスト》谷　彰三 氏　(バリューアップ研究所) 後藤　孝浩 氏　(富士フイルム株式会社) 大久保　孝俊 氏　(スリーエム ジャパン株式会社)
17:00	**閉　会**

※やむを得ぬ諸事情により、変更する場合がございます。

開催にあたって

企業の人的・物的資源を最大限に有効活用し機能本位かつ使用者優先で価値を創造する方法がＶＥ(バリュー・エンジニアリング)です。中部ＶＥ研究会は「顧客が満足する機能」と「それを支える最適コストの実現」を両立するための考え方の礎となるＶＥの有効な活用と最新動向を普及啓蒙し、それらを自社で活用できる人材を育成することを目的に活動しております。

1947に米国ＧＥ社のマイルズ氏によって開発され、1960年代に初めて日本に導入されたＶＥは企画、開発、製造、サービスなどあらゆる業種で活用され、半世紀に渡って数多くの企業に導入され成果を上げてきました。1967年に始まった中部ＶＥ大会も今回で50回目の節目を迎えます。第50回目となる中部ＶＥ大会は「これからの50年に向けた価値創造」をコンセプトとしております。

今回の中部ＶＥ大会はご参加された方々が既存の枠組みにとらわれることなく、厳しい事業環境の変化に対応するための価値創造の手がかりを得ることができるよう示唆に富んだプログラムで構成されております。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちいたしております。

中部VE研究会　幹事・ワーキンググループ (順不同・敬称略)

アイシン精機㈱ 経理部 主査	水谷　彰利
中部電力㈱ 資材室 主任	有賀　さや香
㈱デンソー コーポレートセンター 原価企画室 源流原企課長	竹菴　憲治
日本車輌製造㈱ 調達部 担当次長	河西　幸三
トヨタ自動車㈱ 調達本部 調達企画部 第1企画室長	原　章
トヨタ車体㈱ 製品企画センター 原価企画室長	浅井　健
東邦ガス㈱ 資材部 資材グループマネジャー	北本　都美
矢作建設工業㈱ 土木・建築事業本部 管理部長	紀伊　保

ご参加要項

■参加費(1名につき)〈資料代・昼食代含む〉
- ●中部VE研究会会員、会員の紹介、中産連会員 …… 13,000円＋消費税
- ●会員外 …… 18,000円＋消費税

※消費税は開催日の税率にて課税させていただきます。

■申込方法
①参加お申込みの方は、右記申込書にご記入の上、郵送またはFAXにてお申し込みください。
中産連HP(www.chusanren.or.jp)からも申込可能です。
②受講票、請求書は、開催日の2～3週間前に申込責任者宛てに郵送いたします。
③参加費は開催前日までに、銀行振込にてお願いします。
【振込先】三菱UFJ銀行 名古屋営業部　当座 №420222
〈口座名:一般社団法人中部産業連盟〉

■申込先
一般社団法人中部産業連盟　中部VE研究会
担当:小橋川、樋口、大土井、森、江口
〒461-8580 名古屋市東区白壁三丁目12番13号
TEL(052)931-9826　FAX(052)931-5195

「第50回中部VE大会」11/16 参加申込書

FAX 0120-342-340

所属部課・役職名	氏　名

会社概要	業種(主要製品)	資本金	従業員
		百万円	人

会社名
〒
住　所
TEL (　　)　　－
FAX (　　)　　－
申込責任者
所属・役職名
氏　名
区分[以下いずれかにチェック(V)してください]
☐ 中部VE研究会　会員
☐ 中部VE研究会　会員の紹介
紹介企業
☐ 中産連会員　☐ 会員外
参加費　　月　　日銀行振込予定

今回ご記入いただいた個人情報は、大会の運営に関する範囲内において使用させていただきます。なお本申込書のご住所・FAX・E-MAIL宛に当協会から関連情報をご案内させていただく場合がございます。ご不要の場合、下記にレ点をご記入お願いします。
☐ 大会などの関連情報の案内を希望しない